



しょうき  
鍾馗さんも  
怒ってます

※「鍾馗(しょうき)」は、魔よけのため町家の屋根の軒先に置かれている像。守り神として伝えられています。

# 京都がなくなる… 京都でなくなる

地価高騰

観光公害

住民追い出し

大型開発

ホテル建設ラッシュ

町並みだけでなく、  
歴史や伝統、くらし、  
京都の魅力が失われる

「違法民泊」の横行と「ホテル建設ラッシュ」によって、京都市中心部の地価はバブル期を上回る高騰です。まさに若者や子育て世代、お年寄り、お商売の方が住み続けられない事態が進んでいます。京都がこわされる、「応仁の乱以来の危機」と言われています。

ホテル建設ほとんど  
外資や大手資本

京都こわしの最大の要因は、安倍内閣が大企業優先の成長戦略に観光を位置付け、「京都」を売り物にし、それに追随する京都府や京都市は何が何でも観光客を増やそうとしていることです。計画されているホテルの圧倒的多数は外資や京都以外の大手資本です。住民の財産、小学校跡地や公有地にもホテル建設が進んでいます。



▲ホテルになる元清水小学校

高さ規制緩和 大企業による大型開発も

さらに京都市は中心部の高さや容積率の規制緩和を計画。京都駅周辺や中央市場周辺での大規模開発を計画、京都こわしに拍車をかけています。日本共産党はホテルや観光客の総量規制を求めています。



今こそ まちこわしにストップを 日本共産党 京都府会議員団

市民の皆さんと力あわせて

# 安心して 住み続けられる 下京区を

## 全国で有名な路地

「膏薬辻子(こうやくのずし)」にも  
まちこわしが…

下京区の至る所でまちこわしが進んでいます。四条西洞院を下がる「杉本家住宅」に隣接の「膏薬辻子(こうやくのずし)」は京都を代表する「路地」。平将門の首塚もあり、全国から京都らしさを求める人が訪れ、多くの映画のロケ地にもなっています。その路地にホテル建設。立ち退きなどで町並みが変わってしまいました。



市民の  
財産

## 元植柳小学校跡地が外資系のホテルに!!

元植柳小学校の跡地について、タイの高級ホテル「デュシタニ」の建設予定が発表されました。貸付期間は60年間で、年間約1億500万円の賃料。元植柳小学校は、地域の人々が土地や資金を提供するなど多大な努力と協力のもとで



▲ホテルの完成イメージ図(京都市ホームページから)

つくられた市民の財産。廃校後も学区民の唯一の避難所やコミュニティの場所として重要な役割を果たしています。京都市は住民置きざりで勝手に跡地活用の方向を決めようとしています。

## 大規模な開発計画が進行 京都駅周辺、 中央卸売市場周辺など

京都市は、企業やホテルを誘致するために「建築物の高さ規制」「容積率」の緩和を進め、大手企業による大規模な再開発計画が下京区で進んでいます。地元の商店街や旅館などの振興抜きの住民の追い出し、地域こわしをやめさせましょう。

